

マグネチック

キングショウギ

熱く燃える日本伝統のボードゲーム



将棋

マグネチック キング将棋

プレイ人数：2人
対象年齢：6歳以上
プレイ時間：約20分～

まずは将棋駒40個を図1のように盤面に並べてからゲームを始めます。

◆ゲームの目的◆

交互に自分の駒を動かして相手の駒を奪い合い、相手の王将を先にとった人の勝ち。

◆ルール◆

- 将棋駒は、種類ごとに一手で動ける範囲が決まっています。(図2参照)
- 駒は前進して相手陣内(向こう端から3段目以内)に入ると、昇格して駒の動かし方を変えることができます。これを「成る」といいます。成る時は、その駒を裏返します。成るのは自由ですが、一度成ったら元の駒にはもどれません。(王将と金将は成ることができません。)
- 歩兵・銀将・桂馬・香車を裏返す(成る)と、それぞれ金将の動き方になります。
- 角行・飛車を裏返す(成る)と、元の動きに王将の動き方が追加されます。
- 相手駒をとったら自分の駒として再使用することができます。自分の順番のときに、盤面のすきなところへ置いてかまいません。(この作業で一手とみなします。)
- 次の一手で王将をとれるところに駒を動かすことを、王手といいます。王手された側は、次の一手でこれを防がなければなりません。王手が防ぎきれなくなると、その時点で負けとなります。これを「詰み」といいます。
- 将棋にはいくつかの禁止手があります。

(二歩)

同じタテの行に、自分の歩兵が2枚ならぶことです。すでに自分の歩兵がある行に持ち駒の歩兵を追加して置いてはいけません。ただし、歩兵が成っていれば問題ありません。

(行きどろのない駒は打てません)

例えば、相手陣の向こう端に歩兵を置いたとしても、その駒は動けません。このように、置いたとしてもその先に行きどろがないような場所へ持ち駒を置くことは反則です。

(打ち歩詰め禁止)

歩兵を置くことによって相手の王将が詰みになる場合、打ち歩詰めといって反則になります。ただし、盤上の歩兵を前進させて王手をかけ、詰みにした時は打ち歩詰めではありません。

※禁断転載 ©はなやま玩具株式会社

図1

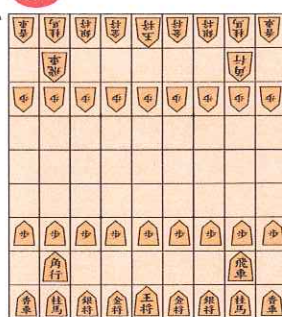
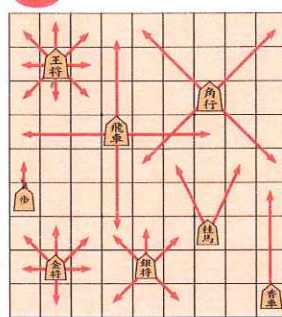
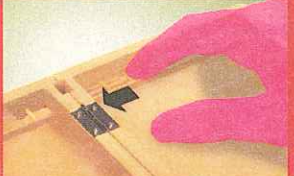



図2





遊ぶ際は盤面裏側にあるストッパー(2ヶ所)を写真のように矢印方向へスライドさせ、ゲーム盤を固定してください。ゲーム中は盤面がしっかり安定し、快適に遊ぶことができます。

本製品の
特徴



将棋駒は、影文字風の本格的な様式です。厚みがたっぷりあるので、写真のようにゲーム盤にもよく固定します。マグネットパワーでゲーム盤にもよく固定しますので、いつでもどこでもゲームをお楽しみいただけます。

HANAYAMA
はなやま玩具株式会社
〒272-0803 千葉県市川市幸免町68
お客様サービス係 TEL 047-337-2215
＜受付時間＞月～金(祝・祭日を除く)10～12時/13～17時

玩具安全基準合格
4977513045827

ST 3
(社)日本玩具協会
東京都墨田区東駒形4-22-4

4 977513 045827

- (はいつているもの)
- 将棋駒...合計40ヶ
(材質/PS樹脂・マグネット)
 - ゲーム盤...1台
(材質/PS樹脂・スチール・マグネット)
- ※盤面には、表面保護のため、薄い保護フィルムを貼っておりますので、はがしてお使いください。
- 紙：フタ 下箱 袋 (PE) 透明トレイ (PET)

注意 (ちゅうい)

保護者の方へ必ずお読みください。

- 小さな部品がありますので、誤って飲み込まないよう注意してください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の恐れがありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 万一、破損、変形したときは、使用するのをやめてください。

MADE IN CHINA